

文学部創設20周年記念公開市民講座

昭和61年6月7日(土) 午後2時30分より

「英国人が描いた幕末・明治」

英文学科助教授 ろじゃ めいちん

昭和61年7月5日(土) 午後2時30分より

「ヘンリー・アダムズと日本」

英文学科教授 刈 田 元 司

昭和61年10月4日(土) 午後2時30分より

「自然科学の発達と人間の実力との落差について」

英文学科教授 梅 津 濟 美

昭和61年11月1日(土) 午後2時30分より

「中世人の描いた女性像」

英文学科教授 関 本 榮 一

学 会 関 係

昭和61年10月11日、12日の両日、名古屋大学で開かれたシェイクスピア学会において、細川眞助教授は「*Twelfth Night* における Disguise の二面性」と題する研究を発表した。

昭和61年11月15日～17日の3日間、原教授が大会実行委員長となって、日本児童文学第25回研究大会が本学を会場として開催された。なお、12月29日、30日の両日、日本イギリス児童文学会第16回研究大会が焼津市文化センターで開かれ、同会々長として、原教授はシンポジウム「英米絵本の研究方法をめぐって」に参加した。

昭和61年12月6日、7日の両日、関本教授が開催校準備委員となって、日本中世英語英文学会第2回全国大会が本学を会場として開かれた。この学会において、大島巖助教授は「大法院文書における綴字法と語形の不規則性と統一性についての一考察」と題して、また Roger Machin 助教授は「Gavin Douglas の散文について」と題して、それぞれ研究を発表した。